

中学校第1学年 音楽科学習指導案

期 日 平成24年10月10日(水)第5校時

場 所 南小国町立南小国中学校 音楽室

指導者 教諭 山部 由美

- 1 題材名 「歌唱表現の楽しさ」(教育芸術社)
教材 「魔王」 ゲーテ 作詞 シューベルト 作曲
「Forever」 杉本 竜一 作詞・作曲
「COSMOS」 ミマス 作詞・作曲

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、鑑賞によって培った力を歌唱表現の工夫につなげ、豊かで感動的な合唱活動を展開することを目指している。学習指導要領のA表現の内容における(1)ア「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと」及び、B鑑賞の(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」に関する学習内容である。

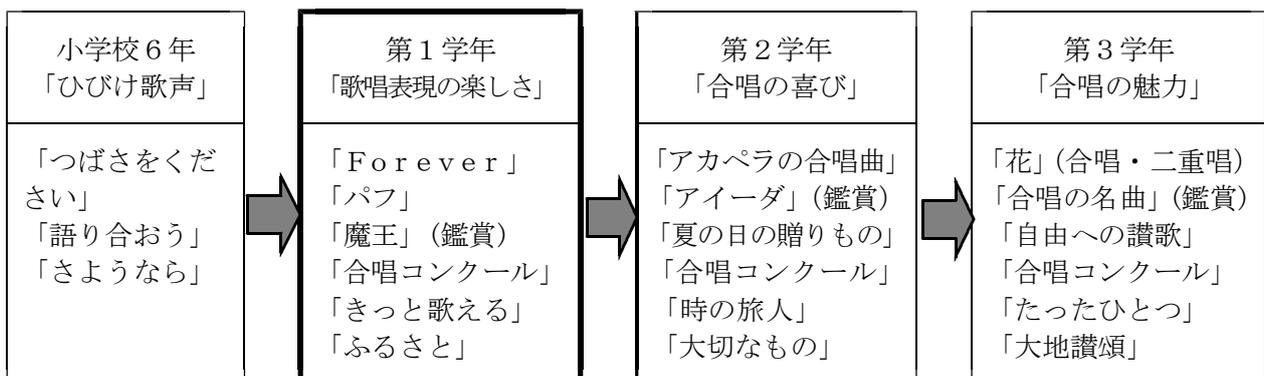
「魔王」は、四つの登場人物の音の高低や強弱、調、伴奏の変化で、それぞれの心理などが表されており、詩と音楽が一体となって劇的な効果を生み出している様子が理解しやすい曲である。また、歌い手の表現力により、巧みに歌い分けられていると感じ取らせることで、場面展開をより豊かにイメージさせることができる曲である。これらのことから、本教材は、生徒に音楽の構造的側面(音色、旋律、強弱)を知覚し、音楽の感性的側面(雰囲気・曲想)を感受させ、イメージを膨らませながら聴く力を身に付けさせることができると考える。

「Forever」は、新しく出会った仲間とともに、「希望を胸に抱いて、いくつもの季節をいっしょに過ごそう」という内容の歌詞である。1年生にとって共感しやすい歌詞であり、また、ハ長調の音階と平易なフレーズなので、強弱記号を意識することにより自然とフレーズ感を捉えることができる曲である。

合唱曲「COSMOS」は、本学級が合唱コンクールで歌う自由曲であり、生徒たちの多数の票を集め決まった曲である。曲の盛り上がりがとらえやすく、男子も気持ちよく歌える音域である。ソプラノ、アルト、男声の役割がはっきりしており、声部の働きとのかかわり合いに注意して合唱する力を養うことができる。また、明るく伸び伸びとした楽曲で、生徒たちが意欲を持って学習できる教材でもある。練習を通して、曲想にあった各声部ごとの表現の能力を伸ばし、混声合唱の魅力を味わうことができる。

これらの表現と鑑賞が一体となった一連の音楽活動によって、効果的に生徒一人一人の音楽性を高め、音楽の素晴らしさや感動を味わわせることができると考え、本題材を設定した。

(2) 系統観



第1学年では、メロディー中心の部分二部合唱から取り組みはじめ、歌曲で表現の豊かさに触れ、部分三部合唱ができるようになる。第2学年では混声三部合唱に慣れるよう、数多くの曲に触れさせる。更にそれを発展させ、第3学年では、二重唱や混声四部合唱に取り組む。そのことで他声部

との和声的感覚を養い、豊かなハーモニーを味わわせ、歌うことの楽しさを実感させることができると考える。

(3) 生徒観 (男子14人、女子19人)

男女ともに、音楽活動に意欲的に取り組もうとする姿が多く見られ、明るい雰囲気の中で音楽の授業を行うことができるクラスである。

合唱活動については、女子は音色や声量に気をつけて歌おうと意識しながら取り組むことができているが、男子は未変声の生徒が多く、1オクターブ下げて歌ってはいるものの低い音程になると声が出ず、歌うことに躊躇している生徒も少なくない。

事前アンケートのについての結果は、次のとおりである。

(調査人数 33人 : 実施時期 5月下旬)

◎音楽の学習は好きですか。

好き (女子 18人 男子 9人)

好きではない (女子 1人 男子 5人)

○好きな理由

- ・歌うのが楽しい ・演奏したりできる ・音楽を聴くのが好き
- ・歌うのがすきだし心がすっきりするから ・おもしろい
- ・歌うとみんなのきれいな声がきけるから ・みんなで歌うと楽しいから
- ・音符や休符の名前を覚えたいから ・授業中の内容がよく分かるから
- ・合唱などでみんなと一緒に作りあげていく感じがあるから
- ・とても楽しいし、音楽って不思議だと思い、そう考えるだけでも楽しい

○好きではない理由

- ・歌うのが苦手 ・声あまり出ない ・うまく歌えない ・よく分からない

4 : そう思う	3 : どちらかといえばそう思う	2 : どちらかといえばそう思わない	1 : そう思わない
----------	------------------	--------------------	------------

◎歌うことは好きですか。

(4 : 18人 3 : 8人 2 : 3人 1 : 4人)

◎音楽の授業で歌うときに歌詞の内容を考え、気持ちを込めて歌うようにしていると思いますか。

(4 : 13人 3 : 13人 2 : 3人 1 : 4人)

◎音楽の授業で歌うとき、曲の雰囲気と結びつけて声の音色や強弱などの歌い方を工夫していますか。

(4 : 11人 3 : 15人 2 : 6人 1 : 1人)

◎授業で音楽を聴くとき、音楽からきこえてくる声や楽器の音色の特徴を聴き取っていますか。

(4 : 3人 3 : 19人 2 : 8人 1 : 3人)

◎授業で音楽を聴くとき、その音楽のリズムや旋律の特徴を聴き取っていますか。

(4 : 10人 3 : 12人 2 : 9人 1 : 2人)

◎授業で音楽を聴くとき、その音楽のよさや演奏のよさを言葉などで表そうとしていますか。

(4 : 3人 3 : 15人 2 : 13人 1 : 2人)

◎毎時間の目標が達成できていますか。

(4 : 11人 3 : 18人 2 : 3人 1 : 1人)

◎音楽の授業で、音楽のよさや美しさを感じながら、音楽を聴いていますか。

(4 : 17人 3 : 8人 2 : 7人 1 : 1人)

(4) 指導観

- 「魔王」の鑑賞を通して、詩と音楽との関連に気付かせるとともに、それを表現する歌手の声の魅力と表現力の豊かさを味わわせたい。
- 音源の選択にあたっては、教師自身が感動を感じる表現者のものを使用し、生徒たちに多様な歌唱表現の魅力について興味を持たせたい。
- 歌詞の内容や情景などからイメージを膨らませやすい「魔王」の教材を使って、歌手の表現の工夫がどれだけ重要かに気付かせ、自分たちの合唱表現に生かそうとする意欲や態度につなげたい。
- 各パートや3人班での活動を通して、友達と協力したり互いの考えを交流したりすることで、主体的に音楽活動に取り組む姿勢を身に付けさせたい。

Bプロジェクトの視点から	
<p>本題材では、音楽のもつよさや楽しさを、生徒が音楽活動の中から分析的に学び、その学びを知識や技能として活用する学習活動とパフォーマンス課題とルーブリックによる評価を位置づけたパフォーマンス評価を設定する。</p> <p>また授業の内容としては、「音楽表現の創意工夫」「鑑賞の能力」に視点をあて、表現と鑑賞を一体化させた題材構成で授業を構成する。生徒が思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする力を高めるために、音楽を形づくっている要素に着目し、それらの働きが生み出す面白さを感じ取るという「音楽的な感受」を大切にしたい授業を展開する。また、その評価としては〔共通事項〕アである音楽の諸要素を学習の支えとしながら、音楽表現を創意工夫する力や音楽を鑑賞する力の学習状況を評価する。主な評価方法としては、生徒の発表などの観察に加えてアセスメントシートを作成し、知覚・感受力がどう育ったかを図る。</p>	

3 題材の目標と評価規準

題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、よさや美しさを味わう。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲に合うよう表現を工夫する。
音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ①歌詞に込められたメッセージや心情を感じ取り、曲想を味わったり表現を工夫したりしながら歌おうとしている。 ②音楽を形づくっている音色、旋律、強弱と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ①歌詞に込められたメッセージや心情を感じ取り、それにふさわしい音楽表現を創意工夫している。 ②音楽を形づくっている要素を知覚し、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。
音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ①合唱を行うにあたっての技能を身に付けて歌っている。 ②音楽表現の創意工夫を、実際の演奏に生かすための技能を身に付けている。
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ①音楽を形づくっている要素と曲想との関わりについて、自分なりに解釈したり価値を考えたりし、この曲のもつよさや美しさを味わって聴いている。

4 指導・評価の計画（8時間取扱い 検証授業Ⅰ 5／8、検証授業Ⅱ 7／8）

次	時	学習活動	指導上の留意点 ※プロジェクトの視点から	評価基準（B基準） （評価方法）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○曲に込められている思いを感じ取り、その思いをどのように表現するかについて考える。 ・範唱を聴く。 ・主旋律の音を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴いたはじめの印象を大事にするために、曲に関する情報や説明は極力控えるようにする。 ※パフォーマンス課題を設定し、本題材全体の目標をもたせる。 	音楽への関心・意欲・態度① （ワークシート） 歌詞に込められたメッセージや心情を感じ取り、自分の考えを書き表している。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>『題材を通じたパフォーマンス課題』</p> <p>校内合唱コンクールにおいて、聴く人が涙を流し感動するような合唱を届けましょう。そのために、曲を聴いてイメージを抱いたり、豊かな歌唱表現を鑑賞し、自分たちの表現に生かしたりする学習を進めます。この曲に込められた思いを伝えるためにはどんな歌い方にしていくとよいか考えながら、みんなで一つの音楽を作り上げていきましょう。</p> </div>			
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○リズムや音程を正しく歌うためのパート練習を、各リーダーを中心に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男声→アルト→ソプラノの順で指導に回り、姿勢や発声音程等の確認を行う。 	音楽表現の技能① （パート練習の観察） リズムや音程を正しく歌うた

	3			めの技能を身に付けて歌っている。
2	4	○「魔王」をCDで鑑賞し、4人の登場人物の歌い方の違いを感じ取り、この曲の特徴をつかむ。 ○3人の歌い手による演奏を聴き、好きな演奏を選ぶ。	・ 歌曲についておさえる。 ・ 曲名や内容を伏せて鑑賞させ、感じたことやイメージしたこと、なぜそう感じたかを一人一人発表させる。 ・ 知覚・感受力を高めるための視聴覚教材として、「ペーター・ケーヴェス」「ジェシーノーマン」「本岩孝之」を視聴させる。	音楽への関心・意欲・態度② (ワークシート、発言) 「魔王」を聴いて、音楽を形づくっている要素の「音色」、「旋律」、「強弱」と曲想との関わりについて自分が気付いたことを書き表している。
	5 (検証授業Ⅰ)	○自分が選んだ歌い手のDVDを視聴し、その人の歌唱表現の素晴らしさをみんなに分かりやすく伝えるための原稿を作る。 ○3人班で話し合いながら、考えを深める。 ○合唱にどう生かすか考える。	・ まずは個人で考えてアセスメントシートに記入させる。その後、3人班で互いの考えを出し合わせる。最後に、また個人で考えを深めさせる。 ・ 生徒が記述をする際にキーワードにとらわれすぎないように配慮する。 ※パフォーマンス課題を設定	鑑賞の能力① (アセスメントシート) 「魔王」を味わって聴き、音色、旋律、強弱と曲想との関わり、自分が選んだ歌い手の表現の素晴らしさ等を書き表している。 ※ルーブリックを用いて評価
3	6	○鑑賞で感じ取ったことをどのように合唱に生かせばよいか、他の人の考えを知る。 ○「Forever」の作詞作曲者のアドバイスを読み、この曲にふさわしい表現を工夫する。	・ 互いの考えを知り、クラスが一体となった合唱をする手掛かりとする。 ・ 録音した自分たちの演奏を聴き、生徒の意見を出し合わせる。	音楽表現の創意工夫① (話し合いの観察、ワークシート) 作者のアドバイスと自分たちの合唱を比べながら、どのように歌うと作者の意図にふさわしい合唱となるかについて発言したり、書いたりしている。
	7 (検証授業Ⅱ)	○「COSMOS」の1番を合唱し、ミマスさんのメッセージを聞く。 ○キーワードとなる歌詞を選び、後半部分の歌い方について考える。 ○パート毎に工夫点を出し合い、練習を行う。 ○パート毎に発表を行う。 ○自分たちで工夫した表現を意識しながら合唱する。	・ 作詞作曲者のメッセージを伝えることで、生徒により具体的なイメージを持たせる。 ・ 一人でシートに記入させた後、パートリーダーを中心にパートでそのことを検討し、統一した課題を持たせるようにする。 ・ 発声等の技術面と関わらせて練習させる。 ※パフォーマンス課題を設定	音楽表現の創意工夫② (練習の観察、発表、アセスメントシート) 曲の前半部分と後半部分をどのように歌うかについて工夫点をつかみ、そのことを歌で表そうとしている。 ※ルーブリックを用いて評価
	8	○指揮、伴奏、合唱が一体となり、これまで工夫してきたこと、つかんだ技能を生かして、自分たちの思いが伝わるような合唱表現にする。	・ 生徒たちに、本番のステージでどのような合唱をしたいかイメージさせ、そのための目標を立てさせる。 ・ 教師は技術的なアドバイスを適宜行う。 ・ 相互評価と自己評価を行い、合唱コンクール当日の演奏につながるようにする。	音楽表現の技能② (練習の観察) 創意工夫した音楽表現を、実際の演奏に生かすための技能を身に付けている。

5 検証授業Ⅰの学習（第5時）

(1) 目標：音楽と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、よさや美しさを味わう。

(2) 評価基準

「鑑賞の能力①」（ワークシート、発表）

(B基準)「魔王」を味わって聴き、音色、旋律、強弱と曲想との関わり、自分が選んだ歌手の表現の素晴らしさ等を書き表している。

(A基準)「魔王」を味わって聴き、音色、旋律、強弱と曲想との関わり、自分が選んだ歌手の表現の素晴らしさ等、自分なりにとっての価値を加えながら解釈したことを書き表している。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Bプロジェクトの視点	備考
経験 分析	1 3人それぞれの「魔王」を好んだ理由を知る。更に演奏の特徴を再確認するために、演奏場面の一部を視聴する。【全体】 2 本時の目標を確認する。	○前の時間の最後に3人の歌唱を鑑賞し、一人を選んでもらいました。その理由をいくつか紹介します。 ○もっと深く探ってみよう。	○生徒が知覚・感受したことを一部紹介し、再度3人の歌唱を視聴することで、歌手の魅力を探る手立てとする。 ○ほめ上手になり、あらさがしはしないことをおさえる。	DVD 電子黒板
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 審査員になって歌手の歌唱表現の魅力に迫ろう あなたは独唱コンクールの審査員です。〇〇さんの「魔王」をどのように評価しますか。このクラスみんなに分かりやすく伝えるための原稿を作りましょう。 </div>			カード 写真
再経験	3 選んだ歌手ごとの場所に分かれ、DVDを視聴する。そして、審査員になったつもりで評価する内容をアセスメントシート(前半)に記入する。 【個人】	○キーワードに気を付けて聴きましょう。 *「音色」「旋律」「強弱」 ○その人の魅力や歌唱表現のすばらしさをみんなに分かりやすく伝えるための原稿を作りましょう。	○キーワードを手がかりとさせるが、それだけにとらわれずに感じたことを書いてもよいことを押さえる。	テレビ DVDデッキ パソコン アセスメントシート
評価	4 3人班で考えを出し合いグループシートに書き出し、その内容を発表する。 【グループ】 5 班で話し合ったことを生かし、自分の考えを再び原稿(アセスメントシート後半)にまとめなおす。 【個人】	○「アセスメントシート」に記入した考えを基に意見を出し合い、グループシートにまとめましょう。 ○グループでまとめたことを発表しましょう。 ○自分の意見として最終的な評価(原稿)をまとめましょう。	○他のグループの発表を聞くことで、考えを共有させる。 ○机間指導でサポートが必要な生徒にはアドバイスをを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 評価：鑑賞の能力(アセスメントシート) B:「魔王」を味わって聴き、音色、旋律、強弱と曲想との関わり、自分が選んだ歌手の表現の素晴らしさ等を書き表している。 <B基準に達しない生徒への手立て> [共通事項]を一つに絞り、具体的なヒントを与えながら支援する。 </div>	

6 検証授業Ⅱの学習（第7時）

(1) 目標：歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲に合うよう表現を工夫する。

(2) 評価基準

「音楽表現の創意工夫②」（発表、アセスメントシート）

（B基準）前半部分と後半部分をどのように歌うかについて工夫点をつかみ、そのことを歌で表そうとしている。

（A基準）前半部分と後半部分をどのように歌うかについて具体的な工夫点をつかみ、「音色」「強弱」などの諸要素と関わりながら歌で表そうとしている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Bプロジェクトの視点	備考
経験	1 「COSMOS」の一番のみを合唱した後、ミマスさんのメッセージを聞く。【一斉】	○歌ってみてどうでしたか。聴く人が涙を流す合唱に近づいているでしょうか。ミマスさんからメッセージが届いていますので、皆さんに伝えます。	○ミマスさんのメッセージを読むことにより、これまでのイメージを更に高める。 ○歌詞に注目させることと、宇宙を意識したおおらかな表現が問われていることに気付かせる。	ヒ°アノ 電子 黒板
	2 目標を確認する。		※パフォーマンス課題の提示 この曲のもつ感動が、聴く人に伝わるように歌い方を工夫しよう。	
			前半部分は、この曲のキーワードになる歌詞を選ぼう。そして、本岩さん、ペーターさん、ジェシーさんのようにその言葉をかみしめて歌おう。後半部分はこの曲の山です。どのような声や表情、強さで歌えばよいか考えて練習し、発表しましょう。	
分析	3 キーワードとなる歌詞を選んだ後、後半部分の歌い方について考える。【個人】	○皆さんはどの言葉に思いを込めたいですか。また、後半の曲の山をどのように表現しますか。まずは一人で考えてみましょう。	○一人でシートに記入させた後、パートリーダーを中心にパートでそのことを検討し、統一した課題を持たせるようにする。	アセス メント シート
再経験	4 パート毎に工夫点を出し合い、練習を行う。【パート】	○工夫することが実際に表現できるように練習しよう。	○発声等の技術面と関わらせて練習させる。	キーボ ード
	5 パート毎に発表を行う。 ・前半のキーワードとなる歌詞、後半部分の工夫点を伝えて発表する。 ・他のパートの発表を聴いて、感じたことを伝える。	○各パートとも発表してもらいます。工夫した点を述べ、歌い始めるようにして下さい。また聴く人は安心して歌えるような場づくりをしましょう。 ○発表が終わったら、拍手や感想などで返しをしましょう。	○発表に対しての意見や感想では、音色、表情、強弱に視点をおいた発表ができるような助言をする。	
評価	6 自分たちで工夫した表現を意識しながら、伴奏に合わせて合唱する。【全体】	○最後に、全てのパートの力を結集し、感動的な合唱になるよう今日の学習を生かして歌いましょう。	評価：音楽表現の創意工夫（練習の観察、発表、アセスメントシート） B：前半部分と後半部分をどのように歌うかについて工夫点をつかみ、そのことを歌で表そうとしている。	
	7 アセスメントシートに記入する。【個人】	○本時を振り返り、次時につなげる。	〈B基準に達しない生徒への手立て〉 パート練習の中で、個別に具体的な工夫の仕方の例を示す。	